

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ガボン共和国月報(2023年10月)

2023年10月号
在ガボン日本国大使館

1. 内政・外交

- 1日、オリギ・ンゲマ暫定大統領はコンゴ共和国を訪問し、故オマール・ボンゴ元大統領の妻であるエディット・ルシー夫人の墓を墓参したほか、サス・ンゲソ大統領と首脳会談を実施した(1日付JA)。
- 4日、オリギ・ンゲマ暫定大統領は中央アフリカ共和国を訪問し、フォスタン・トゥアデラ大統領と会談を行った。トゥアデラ大統領はガボンが加盟資格を一時停止されている「中部アフリカ諸国経済共同体(ECCAS/CEEAC)」の仲裁者として指名されており、両大統領は二国間関係のほか、政変から1ヶ月後のガボンの状況について意見交換を行った(4日付GR)。
- 9日、オリギ・ンゲマ暫定大統領はチャドを公式訪問し、デビー大統領と首脳会談を実施した。二国間関係の強化や、ガボンにおける民政移管への支援などが会談で取り上げられ、チャドはガボンの民政移管努力を後押ししていくことが発表された(10日付GMT)。
- 16日、オリギ・ンゲマ暫定大統領はルワンダを公式訪問し、カガメ大統領と首脳会談を行ったほか、ディアスポラとの意見交換会を実施した。ディアスポラとの意見交換会には約400名のガボン人が参加し、在ルワンダ・ガボン大使館の開設に関する議論が行われた。ルワンダに住むガボン人の数は約1500人と推定されている(16日付GA)。
- 19日、Judd Devermont 米国大統領補佐官が、バイデン大統領の特使としてオリギ・ンゲマ暫定大統領を表敬訪問した。同表敬訪問で、Devermont 補佐官は暫定政権に対する米国政府の立場を伝達すると共に、米国が民政移行を支援する準備がある旨伝えた。同補佐官はその後、ンドン・シマ首相にも表敬を実施した(19日付GR)。

2. 経済

- 6日、ンドン・シマ首相、ンギアキエ労働大臣、アロゴ環境大臣、ムイッシン経済大臣がンコク経済特区を訪問し、同特区の労働組合や労働者等と意見交換を行った。ンコク経済特区の労働者や労働者は労働環境の是正を求めてストライキを起こしており、首相等はこれら労働者との対話のために経済特区を訪問した(9日付GMT)。

出典:ガボン官報、GA(ガボンアクチュ)、GMT(ガボンメディアタイム)、GR(ガボンレビュー)、JA(ジューヌ・アフリック)

(了)